

注意: やむをえない理由により、予告なしに担当講師が代講または変更となることがあります。講座開始後、この変更を理由に講座をキャンセルされる場合、受講料の返還はいたしません。またテキストは出版社の都合により変更の可能性がります。

講座コード 010001A	英語基礎	担当者	吉田 悠樹彦	火曜日
講座の内容	<p>英語の学習経験があるが、再度挑戦してみたい方、苦手としている事があるがゆっくりでもしつかり取り組んでみたい方、あるいは長い間離れていたが必要があって学びたい方におすすめの講座です。英語は現代日本において、グローバル化・社内英語化などで必要とされている言語です。これまで学んだ英語を文法を中心に再度復習し、解らないことを再度理解することで、「聞く」「読む」「話す」「書く」(4技能)の苦手とする部分をそれぞれ伸ばしていけるようにします。</p> <p>また講義では現代の英語学習法や社会・文化との接点から新たな切り口についても知っていけるようにしています。受講生にとって解りにくい単元や内容も明確にし、具体化して取り上げながら、それを解りやすく解説し理解していくことも行います。TOEIC®のReadingに取り組んでいる受講生や初中級クラスを経てもう一度立ち返って文法の基礎を復習したい受講生も、履修を通じて総復習ができるように工夫しています。</p> <p>紆余曲折があっても、結果として自分で何度でも再トライする姿勢・初心に戻り挑戦を重ねていく事ができる力を育むことを目指します。教材は総合教材の『Access to Simple English 英文法基礎力マスター』を使います。その他にも適宜講義中に紹介します。</p>			
講座の進め方 ・到達目標	<p>文法を中心にレベルアップを行います。それ以外にも参考書・資料を使って英語や英語学習の枠組みを広げていくことも行います。1学期でテキストを一冊終了します。</p> <p>予習はしてきてください。希望があれば定着のための確認テストや単語テストも行います。講座を通じて、次の段階の英語初級レベルや TOEIC®クラスへつなげていけるようにします。</p>			
対象レベル	基礎			
この講座で重視している項目	<input checked="" type="checkbox"/> 会話 <input checked="" type="checkbox"/> 作文 <input checked="" type="checkbox"/> 読解 <input type="checkbox"/> 聴解 <input checked="" type="checkbox"/> 文法 <input type="checkbox"/> 発音 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション			
使用予定教材	<p>Takayuki Ishii, Osamu Yamaguchi, 他, 『Access to Simple English 英文法基礎力マスター』, 成美堂, 2008</p> <p>その他、適宜講義中に紹介します。</p>			

注意: やむをえない理由により、予告なしに担当講師が代講または変更となることがあります。講座開始後、この変更を理由に講座をキャンセルされる場合、受講料の返還はいたしません。またテキストは出版社の都合により変更の可能性がります。

講座コード 010002A	英語初級	担当者	加藤彩雪	木曜日
講座の内容	この授業は、中学や高校で学習した基礎英文法をもとに、楽しく、落ち着いた環境で復習することを目的としています。授業内では「読む・書く・聞く・話す」の 4 技能を満遍なく学習しますが、特に「話す」と「書く」ことを中心に、どのように英語を「アウトプット」するのかということを学びます。様々な場面に応じた英語を習得することができ、自信につながります。			
講座の進め方 ・到達目標	授業内では、受講生が語り合いながら英会話を学びます。また、メールや手紙など、日常生活の中で役立つライティング力も身に着けます。加えて、映画やニュースを用いて、リスニング力の向上も目標としながら授業を進めます。			
対象レベル	初級(TOEIC® 320 - 419)			
この講座で重視している項目	<input checked="" type="checkbox"/> 会話 <input checked="" type="checkbox"/> 作文 <input checked="" type="checkbox"/> 読解 <input checked="" type="checkbox"/> 聴解 <input type="checkbox"/> 文法 <input type="checkbox"/> 発音 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション			
使用予定教材	J. C. Richards, <i>Interchange Level 1</i> , Cambridge University Press *場合によってプリント配付			

講座コード 010003A	英語でニッポン	担当者	バラダッド リチャード Baladad, Richard	水曜日
講座の内容	<p>留学先や出張先で、日本のことを英語でうまく説明できたら…と思ったことはありませんか？ また、日本文化を英語で紹介できたらコミュニケーションの幅が広がると思いませんか？ この講座は下記のテキストを利用し、参加者それぞれの経験を生かしながら日本文化について英語で学んでいきます。講師や他の受講生と英語で会話をしながら、日本の知識と英語コミュニケーション能力を楽しく身につけましょう。</p>			
講座の進め方 ・到達目標	<p>授業は英語で行います。日本を紹介する英語テキストを使用し、毎回キーとなる単語の学習の後、習った単語を用いた短い英文を作ることで単語力や使える英語表現を増やします。また、グループディスカッションを取り入れ、リスニング、会話力のレベルアップを図ります。 興味深いトピックについて、英語でのディスカッションを通して是非、一緒に日本文化を再発見しましょう！</p>			
対象レベル	初級～中級程度			
この講座で重視している項目	<input checked="" type="checkbox"/> 会話 <input checked="" type="checkbox"/> 作文 <input checked="" type="checkbox"/> 読解 <input checked="" type="checkbox"/> 聴解 <input type="checkbox"/> 文法 <input type="checkbox"/> 発音 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション			
使用予定教材	Simon Capper, <i>This is Japan</i> , Macmillan Language House			

注意: やむをえない理由により、予告なしに担当講師が代講または変更となることがあります。講座開始後、この変更を理由に講座をキャンセルされる場合、受講料の返還はいたしません。またテキストは出版社の都合により変更の可能性があります。

講座コード 010004A	英語中級	担当者	プラザ タロン Plaza, Taron	水曜日
講座の内容	この講座では、時事問題やニュース記事を読み、授業内でディスカッションをします。実際のニュース記事に取り組むことにより、読解力の向上を目指します。また、授業内において様々なトピックについて話し合うことで、英語で考えを述べるできるようになります。			
講座の進め方 ・到達目標	毎回、受講生のうち 1 人が次回の授業で読む記事を選びます。次回の授業までに受講生全員がその記事を読み、意見等について準備します。記事を選んだ受講生は、他の受講生が簡単にレビューできるよう、記事の要約を英語でまとめておきます。授業ではディスカッションだけでなく、記事の文法やボキャブラリーについて質問をする時間も設けます。			
対象レベル	中級(TOEIC [®] 420 – 749)			
この講座で重視している項目	<input checked="" type="checkbox"/> 会話 <input checked="" type="checkbox"/> 作文 <input checked="" type="checkbox"/> 読解 <input checked="" type="checkbox"/> 聴解 <input type="checkbox"/> 文法 <input type="checkbox"/> 発音 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション			
使用予定教材	プリント配付			

講座コード 010005A	英語でアメリカ 英会話編	担当者	チェン アンドリュー Chen, Andrew	月曜日
講座の内容	現代アメリカの文化について、アメリカ人の講師から直接英語で学び、講師や他の受講生と英語で語りながら、読解、スピーキングとリスニング力の向上を図ります。読みものやドラマを用いながら、毎週違うテーマを扱い、アメリカというダイナミックで、バラエティーに富んだ国の生活習慣・文化・社会について楽しく学んでいきます。			
講座の進め方 ・到達目標	講座は英語で行います。毎回の講座では、その週のテーマを扱った読解演習を行います。続いて、ドラマなどのヴィジュアル資料をもとに、その内容について英語で意見交換を行います。ドラマに出てくる単語などを学習するだけでなく、アメリカの現状や社会問題についての理解を深めます。今回使用するテキストは大ヒットコメディドラマシリーズ『グリー』。 重要な文法項目と表現の習得に重点を置き、重要語彙、穴埋め表現確認、台詞確認、発音、内容の真偽確認、会話のディクテーション、ディスカッション等、入念に練られた練習問題が特徴です。			
対象レベル	中級程度。 大学初年で十分読めるものになっています。			
この講座で重視している項目	<input checked="" type="checkbox"/> 会話 <input type="checkbox"/> 作文 <input type="checkbox"/> 読解 <input checked="" type="checkbox"/> 聴解 <input type="checkbox"/> 文法 <input checked="" type="checkbox"/> 発音 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション			
使用予定教材	角山照彦, Simon Capper, 『Communicate in English with glee - New Directions Episodes 1,3 & 4 / 『グリー』で学ぶコミュニケーション英語①, ニュー・ディレクションズ結成』, 松柏社, 2018 (必ずしも予習の必要はありません。)			

注意: やむをえない理由により、予告なしに担当講師が代講または変更となることがあります。講座開始後、この変更を理由に講座をキャンセルされる場合、受講料の返還はいたしません。またテキストは出版社の都合により変更の可能性がります。

講座コード 010006A	英語でアメリカ ディスカッション編	担当者	チェン アンドリュー Chen, Andrew	火曜日
講座の内容	<p>この講座では、ディスカッション力と会話表現力を、TED Talks を聞きながら養成していくことを目標とします。21st Century Communication は TED Talks のビデオを柱に、リスニング、スピーキングそしてプレゼンテーションの力をつける教材です。TED Talks のスピーカーを模範例として使用することで、効果的なコミュニケーション力をつけ学習を充実させることができるよう工夫されています。</p> <p>TED Talks の内容を通じて 21 世紀スキルの代表格であるクリティカルシンキング力、コラボレーション力そしてビジュアル・リテラシーを習得し、TED スピーカーによるスピーキング、発音、プレゼンテーションスキルを模範として、学習者自身のプレゼンテーション力を上達させ、インタビューや講義、ディスカッションなどのリスニング素材や TED Talks のビデオを通じて、ノートテークングスキルを学習します。</p>			
講座の進め方 ・到達目標	<p>英語で進行する講座です。知りたい内容、伝えたい内容があってはじめてコミュニケーションは生まれます。授業では、まず文法や語彙、内容の背景知識を理解し、次に、与えられたテーマに対して、興味を持って情報を得る活動につなげ、さらに、自分が感じたことや考えたことを「発信する活動」へと広げます。このような過程を経ることで、発信すべき内容・情報を意識したコミュニケーション力を身につけることが目標です。</p> <p>リーディング、リスニングに加え、英語でのディスカッションスキルの向上を図り、議論を通じて真実と現実を模索しながら、批判的思考スキルを磨きます。</p>			
対象レベル	<p>上級程度。</p> <p>ディスカッション中心に講座を行いますので、さまざまなトピックについての会話や文章の一定の理解力と積極的に英語で発言を行う姿勢が受講の条件となります。</p>			
この講座で重視している項目	<input checked="" type="checkbox"/> 会話 <input type="checkbox"/> 作文 <input checked="" type="checkbox"/> 読解 <input checked="" type="checkbox"/> 聴解 <input checked="" type="checkbox"/> 文法 <input checked="" type="checkbox"/> 発音 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション			
使用予定教材	<p>Lynn Bonesteel, <i>21st Century Communication Level3: Listening, Speaking, and Critical Thinking (Student Book)</i>, CENGAGE Learning K.K, 2017</p>			